



久井公民館だより

平成26年 9月1日発行 No. 110号 9月号
発行/三原市久井公民館 〒722-1412 三原市久井町和草614番地
電話・FAX/0847-32-7139

山々を見ると萩の花が風にゆれ、秋の気配を感じられる季節となりました。田んぼではそろそろ収穫の時期を迎え、黄金色に見えるところもあります。自然の恵みを食すとき、「感謝」の気持ちでいっぱいになりますね。



講座案内

予定「簡単な編物講座」
10月11日(土)
13:30~15:30
詳細は来月号をご覧ください。

いちじくジャムを作ろう

日時：9月11日(木)9:00~13:00
場所：三原市久井南コミュニティセンター 調理室
講師：吉永 正宣さん
参加費：600円(100円受講料含む)
持参物：エフロン・三角巾・タオル
定員：16人
締切り：9月10日(水)まで

始めてみようハーモニカ

日時：9月22日(月)13:30~15:30
場所：三原市久井公民館 講座室2
講師：山根 京子さん
受講料：100円
持参物：筆記用具・ハーモニカ
定員：15人
締切り：9月19日(金)まで

問い合わせ先：三原市久井公民館 TEL 0847-32-7139

「子ども体験講座」がありました。

夏休みに入り宿題から離れて(^。^)
~ちょっと休憩♪♪♪~。声コフター
作りと映画上映をしました。
声コフター作りでは、保護者から「回らないなあ〜。」という声が聞こえる中、子供たちのフロペラはくるくる
ビュンビュン「回った〜。」「おもしろ〜い。」と言う声と楽しむ姿が見られました。



講座ワンポイント

初心者野菜作り講座

【ナスの強剪定】
秋の収穫に備えて、各主枝を1/3
くらいの長さに切り戻しました。
2週間後には、枝が更新し花が咲
いていました。
剪定1か月後くらいには収穫です。

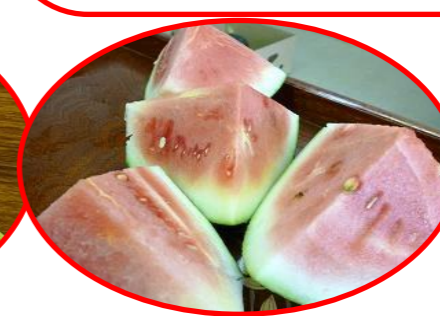
[強剪定]



[2週間後]



生食でもよ
いスイートコーン。
試食してみると
とっても甘〜い
コーンでした。



杭・久井・くい コーナー

「三原市久井歴史民俗資料館」の民俗資料から生活文化について触れてみましょう。



No5 農具4【除草機(雁爪・八反ずり・田打車)】



田んぼの除草は、田植えから稲刈りの時期までに数回、手で取っていました。江戸時代になると手で取るだけでなく、鉄製のツメを用いた専用の鋤で「雁爪」を使ったりするようになりました。明治時代になると「八反ずり」とよばれる除草機が考案されました。立った状態で作業ができ、1日に8反の田んぼの除草ができるとされ、作業時間は大幅に短縮しました。八反ずりは、木製または竹製のものが殆どで、柄を前後に押し引きしながらずり動かし除草します。田んぼとの接地面に釘が打ってあるものなどがありました。明治時代中期になって、八反ずりを改良した除草機「田打車」が登場し、普及に努めた鳥取県の中井太一郎にちなんで「太一車」ともよばれました。田打車の最大の特徴は回転するツメです。柄を持って前後に動かすとツメが田んぼの土をかき回し、除草と中耕をします。ツメが稲株の周りの土をかき混ぜることで、新鮮な酸素を土の中に入れ、稲の分けつ(株分かれ)を促すなど、生育を良くする効果もありました。昭和時代(戦後)は、水田除草のために除草剤が広く使われるようになり、田打車は一時使われなくなりました。現代では、農薬にあまり頼らない農法を目指して、田打車が再び注目されています。全体をアルミ製にして軽くした田打車や、エンジン付の除草機も開発されています。大きなツメで田んぼの表面をかき回す